



環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 重点対策加速化事業」選定 民生分野（家庭・事業者）、農業分野に焦点をあて脱炭素化を推進

この度、美郷町の取組提案（5年間）が2030年度温室効果ガス排出削減目標達成等に向けた、環境省の事業「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 重点対策加速化事業」に選定されました。

選定を受けての「町長コメント」は、次のとおりです。

（嘉戸隆町長コメント）

大変有意な事業に選定いただき、ありがたい。

脱炭素のフロントランナーとして、家庭や事業者の再生可能エネルギー設備導入やEVの普及、ソーラシェアリングや農業の電動化といった新しい農業を推進したい。

（参考）

「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 重点対策加速化事業」

※環境省HP <<https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/enetoku/2022/>>

（概要）全国津々浦々で重点的に導入促進を図るべき屋根置きなど自家消費型の太陽光発電やゼロカーボンドライブなどの取組を、地方公共団体が複数年度にわたり複合的に実施する場合に支援を行うもので、2030年度温室効果ガス排出削減目標達成等のために全国的な再エネ導入の底上げを図るもの。

「地域脱炭素ロードマップ」 ※環境省HP <https://www.env.go.jp/earth/2050carbon_neutral.html>

（概要）地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素に国全体で取り組み、更に世界へと広げるために、特に2030年までに集中して行う取組・施策を中心に、地域の成長戦略ともなる地域脱炭素の行程と具体策を示すもの ※今後5年間に政策を総動員し、人員・技術・情報・資金を積極支援

美郷町は、これまで積極的に脱炭素化に取り組み、特に行政分野で大きく脱炭素化が進展しています。そして、豊かな森林環境により、町全体で既にCO₂排出量をCO₂吸収量が上回るカーボンネガティブにあり（CO₂排出量3.3万t/年に対し、CO₂吸収量21.1万t/年）、2021年3月には「ゼロカーボンシティ先進地宣言」を行っています。

（参考） これまでの主な取組

「庁舎、主要避難所等に太陽光発電設備・蓄電設備（3日分蓄電）を整備→行政施設のCO₂排出量8割削減（+災害時電源の確保）」、「公用車の電気自動車への計画的更新」、「電気自動車・V2H購入補助（+災害時の電源供給協力）→全国トップクラス・県内唯一」、「住宅への太陽光発電設備等の設置、薪ストーブ購入等の補助」、「ドローンによる物流網構築の検討（空の駅構想）」、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定」など
※ゼロカーボンシティ先進地宣言 美郷町HP <<https://gov.town.shimane-misato.lg.jp/kurasi/kankyo/2271>>

民生分野、農業分野を焦点をあてて施策を拡充、新設し、地域の脱炭素化を一層推進していきます。